

# 地方創生実践塾の紹介

令和4年8月



一般財団法人

**地域活性化センター**

Japan Center for Regional Development

- 先進的な取り組みを行う地域を開催地とし、講義やフィールドワーク、グループワーク等のメニューから、より実践的な地域づくりのノウハウや手法を学ぶことができる2～3日間のセミナーです。
- 全国から集まる熱い参加者と思いを共有し、強いつながりをつくることも魅力です。

# 開催自治体のメリット

- 地域の取り組みを全国に発信
- 全国の参加者と新たな繋がりを創出
- 地元の意欲が向上し、新しい地域づくりに繋がる
- 開催経費は基本的に地域活性化センターで負担

# カリキュラムのイメージ

※2日開催の場合

## 1日目

- 開催テーマに関する基本的な知識や開催地での取組の把握から始まり、より具体的な学びに入ります。
  - ・開講式
  - ・主任講師(※)による導入講義
  - ・自治体職員、地域づくり関係者等の特別講師(※)による講義、パネルディスカッション等

## 2日目

- より実践的な内容になります。グループワークでは講義やフィールドワークを通じて感じた意見を交換し、そのテーマに関する課題について協議することにより、認識を深めます。
- 最後に、グループワークの発表やまとめの講義を行い、トータルとして明日から実践できるノウハウの習得を目指します。
  - ・主任講師、特別講師(※)等による講義
  - ・フィールドワーク(団体の活動やまちづくりの各種取組を現地で学びます)
  - ・グループワーク
  - ・主任講師による総括講義
  - ・閉講式

※主任講師、特別講師:開催地で活動している有識者や専門家、地域づくり活動の実践家等

# オンライン開催について

- 地方創生実践塾は現地開催を基本としていますが、令和2年度から新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、オンライン開催の導入を進めています。  
※現地開催の場合、新型コロナウイルス感染症対策をしっかりと行い開催します。
- 令和5年度も新型コロナウイルス感染症の影響が続いていると想定されますので、開催地の選定条件として「現地開催が難しい場合はオンライン開催に切り替えること」を新たに設定しています。
- 現地開催・オンライン開催の概要については6～7ページ目をご覧ください。

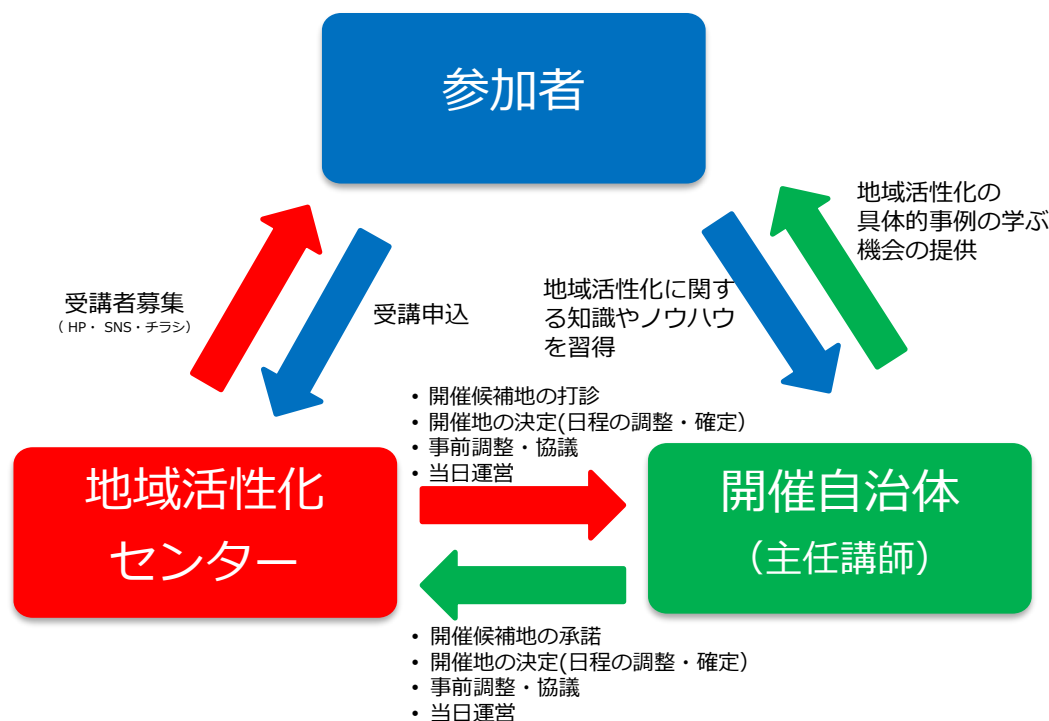
# 現地開催の概要

- ◆ 開催地で行っている地域活性化に関する取組みをテーマとして、主任講師及び特別講師（開催地で活動している有識者や専門家、地域づくり活動の実践家等）、行政関係者による講義やフィールドワークを行います。また、参加者がグループワークを行い、主任講師が提示するテーマに関して討議や検討のうえ結論を発表し、主任講師や特別講師の講評を得ることで、地域活性化に関する知識やノウハウを習得することを目指します。

- |        |   |
|--------|---|
| 1.開催時期 | 5月から2月（3日間又は2日間）<br>*水曜日～金曜日もしくは土日を含む2～3日間                        |
| 2.定員   | 40名程度（会場の規模等により変動）<br>*最小遂行人員（25名程度）に満たない場合は中止する場合があります。          |
| 3.開催方法 | 現地  |
| 4.参加要件 | 地域活性化センターの賛助会員に対するサービスの一環として実施するものですので、参加にあたっては賛助会費1万円をご負担いただきます。 |

## ■プログラムイメージ（2日間の場合）

	時間	事項	備考
1 日 目	12:30～13:00	受付・オリエンテーション	
	13:00～13:15	開講式	新型コロナウイルス感染症対策の取り組みとして、受付時の検温や3密を避けるなどをしっかりと行い開催します。
	13:15～14:15	主任講師講義	
	14:15～14:20	休憩	
	14:20～15:20	特別講師講義①	
	15:20～15:40	写真撮影・休憩	講義やフィールドワーク、グループワークなど現地ならではの研修を実施
	15:40～17:20	フィールドワーク①	
	18:30～20:30	交流会	
2 日 目	9:15～9:45	フィールドワーク②	
	9:45～10:00	休憩、移動	
	10:00～11:00	フィールドワーク③	
	11:00～12:00	特別講師講義②	
	12:00～13:40	昼食/グループワーク 閉校式	



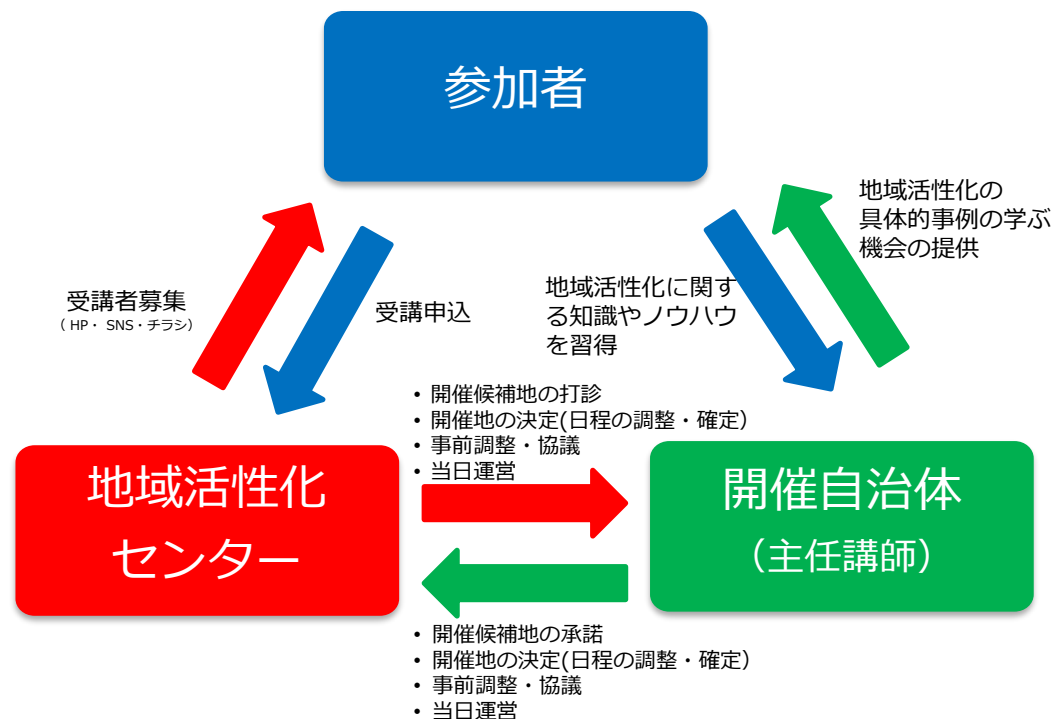
※プログラム構成は開催自治体や主任講師のご意向に応じて自由に変更可能です。

# オンライン開催の概要

- コロナ禍等により現地で開催できない場合、オンライン会議ツール「Zoom」等を使いオンライン上で地方創生実践塾を開催します。

- |        |   |
|--------|---|
| 1.開催時期 | 5月から2月（2日間又は1日間）<br>* 金曜日もしくは土日を含む1～2日間                           |
| 2.定員   | 40名程度   |
| 3.開催方法 | オンライン（「Zoom」等を利用）   |
| 4.参加要件 | 地域活性化センターの賛助会員に対するサービスの一環として実施するものですので、参加にあたっては賛助会費5千円をご負担いただきます。 |

- 地域活性化センターではオンライン開催となった場合、関係者の皆様に対し手厚くフォローします。



## ■プログラムイメージ（1日間の場合）

時間	事項	備考
9:30～10:00	受付/オリエンテーション	オリエンテーション時に、事務局からZoomの説明を行う
10:00～10:10	開講式	
10:10～12:00	主任講師講義	
12:00～13:00	昼休憩	オンライン開催により、自宅や職場にいて学べる地方創生実践塾を開催
13:00～13:40	特別講師講義①	
13:40～14:20	特別講師講義②	
14:20～14:30	休憩	
14:30～15:10	特別講師講義③	
15:10～15:50	特別講師講義④	
15:50～17:10	グループワーク	Zoomのブレイクアウトセッション機能を使ったグループワーク
17:10～17:25	講評/記念撮影	画面キャプチャによる記念撮影
17:25～17:40	閉講式	
18:30～20:30	オンライン交流会	地元特産品によるオンライン交流会

※フィールドワークは、動画や写真等で応用可  
※プログラム構成は開催自治体や主任講師のご意向に応じて自由に変更可能です。

# 令和3年度開催実績

回	開催地	日時	テーマ	参加人数
1	高知県 梶原町	7/21(金)～3日(土)	小さな拠点ゆすはらづくり ～集落活動を核とした、地域の再活性化～	20
2	岐阜県 飛騨市	7/17(土)～18(日)	官民協働による地域資源の活用 ～地域おこし協力隊が中心となって取り組む薬草を活用した地域づくり～	16
3	長野県 小布施町	10/15(金)～16(土)	地域内外の人々が溶け合う小布施流まちづくり ～『協働』と『交流』を軸とした、未来志向の地方創生～	25
4	和歌山県 白浜町	10/22(金)～23(土)	ワーケーションを活用した都市と地方の交流による価値創造	28
5	島根県 邑南町	10/29(金)～20(土)	12地区の力で描く地方創生	16
6	兵庫県 洲本市	11/5(金)～6(土)	域学連携から始まる持続可能な地域づくり ～再生可能エネルギー等を活用した洲本モデル～	14
7	神奈川県 真鶴町	11/19(金)～20(土)	ローカルから未来をつくる ～神奈川県真鶴町の民力で共創する多様な暮らし～	18
8	島根県 海士町	12/4(土)	失敗を原動力に！海士町の挑戦と風土づくり ～小ネタが紡ぐ現在と未来～	5
9	東京都 港区	12/10(金)～11(土)	関わる・つながる・連携する港区 ～協創による新たな価値創造を考える～	14
10	岩手県 紫波町	1/21(金)	オガールからはじまる暮らし心地の良いまち	14

※開催予定だった奈良県川上村、群馬県みなかみ町、鳥取県米子市は新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮して中止。  
高知県佐川町は、町の事情により中止。



# 令和4年度開催実績

回	開催地	日時	テーマ	参加人数
1	長野県 小布施町	5/27(金)～28(土)	地域内外の人々が溶け合う小布施流まちづくり ～「協働と交流」で取り組む「環境先進都市」への挑戦～	29
2	岩手県 紫波町	6/17(金)～18(土)	公民連携でオガールができるまで、そしてその先へ	23
3	群馬県 みなかみ町	6/24(金)～25(土)	ポストコロナ時代の新しい旅のカタチ"ナノツーリズム"の思考と実践 ～「葉っぱ一枚すら観光資源？」アイデア次第の地域資源掘り起し術～	24
4	鳥取県 米子市	7/15(金)、 23(土)～24日(日)	まちづくりメディアラボ ～WEB・動画・写真を駆使した地域プロモーション技法を学ぶ～	22

# 過去の開催事例①

令和4年度 地方創生実践塾in長野県小布施町

テーマ：地域内外の人々が溶け合う小布施流まちづくり～「協働と交流」で取り組む「環境先進都市」への挑戦～

講義



パネルディスカッション



グループワーク



フィールドワーク



# 過去の開催事例①

## 令和4年度 地方創生実践塾in長野県小布施町 カリキュラム

### 1日目

・13:00 ~ 18:30

◆開講式

◆講義①桜井 昌季 氏(小布施町長)

◆フィールドワーク まちあるき

「中心部の「町並み修景事業」の実施地域」

◆パネルディスカッション

林 志洋 氏(小布施町総合政策推進専門官)

塩澤 耕平 氏((一社)ハウスホクサイ代表理事)

日高 健 氏((一社)小布施まちイノベーションHUB理事)

遠山 宏樹 氏((一社)小布施まちイノベーションHUB)

・18:30~

◆交流会

### 2日目

・8:45 ~ 15:00

◆講義②・フィールドワーク

林 映寿 氏(浄光寺副住職／(一財)日本笑顔プロジェクト 代表)

◆パネルディスカッション

林 志洋 氏

税所 篤快 氏(小布施町ゼロカーボン推進員)

古木 里菜 氏(小布施町ゼロウェイスト推進員)

宮田 湧太 氏(小布施町総合政策推進室グリーン・

デスティネーションチーム チームリーダー)

◆グループワーク

◆閉講式

# 過去の開催事例①



## 令和4年度 地方創生実践塾in長野県小布施町 チラシ



地域内外の人々が溶け合う小布施流まちづくり  
～「協働と交流」で取り組む「環境先進都市」への挑戦～



地方創生実践塾 長野県小布施町

令和4年5月27日(金)～28日(土)

会場：小布施町役場 3階講堂 ほか

定員  
30名

主催：(一財)地域活性化センター／共催：小布施町／後援：内閣府、長野県、長野県(予定)

**主任講師紹介**

**林志洋氏**

小布施町議会政策推進専門官

大学在学中に起業家精神に取り組みNPO法人JRCJapanを創設。以来、「イノベーションの社会実装」をテーマに活動される。日本と中国にて大学院を修了後、戦略コンサルリング企業、海外ベンチャー企業での日本展開等を経験。2020年6月に長野県小布施町に移住し、地方を舞台にした持続可能なまちづくりや事業創造に取り組む。

**スケジュール**

5月27日(金) 13:00～18:15

- ◆開講式
- ◆オリエンテーション
- ◆講義①
- ◆フィールドワーク①
- ◆パネルディスカッション
- ◆交流会(会費制)

5月28日(土) 8:30～15:00

- ◆講義②
- ◆フィールドワーク②
- ◆パネルディスカッション
- ◆昼食
- ◆グループワーク
- ◆閉講式

**お申し込みにあたって**

●実践塾の申請は、地域活性化センターの個人賛助会員が受けるサービスの一種です。  
(他に機関賛助、メルマガ配信等のサービスがあります。詳細は<https://www.jsrd.jp/>。)  
このため申請を希望する場合は、賛助会員になっていただく必要があります。

●賛助会費は、【地方創生実践塾地方版L会費10,000円、地方版LS会費(学費)5,000円】です。  
サブスク会費の方は、事前に知らせてください。  
おつて、ご連絡いたします。  
開催直前3日以内のキャンセルは、賛助会費の返金をできません。  
なお、開催地までの往復交通費・宿泊費・飲食代等は別途ご負担となります。

●新型コロナウイルス感染症の感染対策として、開催に安全安心をもってご参加いただくために、抗原検査などの検査をお願いしております。  
ご協力のお願いいたします。

●新型コロナウイルス感染症の感染状況によって、延期や中止、オンライン開催への切り替えを行う場合があります。

※万全の感染防止対策のもと実施しますが、体調不良や発熱等の症状の可能性がある方は参加をご遠慮いただきます。

**会場までのアクセス**

**お申し込み方法**

●お申込み方法

●お申込み方法  
●お申込み方法  
●お申込み方法

12

# 過去の開催事例②

令和4年度 地方創生実践塾in岩手県紫波町  
テーマ: 公民連携でオガールができるまで、そしてその先へ

講義



トークセッション



フィールドワーク①



フィールドワーク②



# 過去の開催事例②

## 令和4年度 地方創生実践塾in岩手県紫波町 カリキュラム

### 1日目

・13:00 ~ 18:30

◆開講式

◆イントロダクション

鎌田 千市 氏 (紫波町企画総務部企画課長)

◆講義① 岡崎 正信 氏

((株)オガール代表取締役/(一社)公民連携事業機構理事)

◆トークセッション

伊藤 めぐみ 氏 (わたな自然農園・てしごとやWatona)

鎌田 千市 氏

岡崎 正信 氏

・18:00~

◆交流会

### 2日目

・9:00 ~ 14:45

◆フィールドワーク「オガールさんぽ」

◆講義② 宮崎 道名 氏

(株式会社カントリーラボ 代表取締役)

◆講義③ 小川 翔大 氏

(オガール企画合同会社 代表社員)

◆講義④ 鎌田 千市 氏

◆閉講式

# 過去の開催事例②

令和4年度 地方創生実践塾in岩手県紫波町  
チラシ

5年連続開催!  
令和4年度地方創生実践塾in岩手県紫波町

## 公民連携で オガールができるまで、 そしてその先へ

全国から注目され続けるまち、岩手県紫波町。  
その中心にあるのは本気の公民連携で取り組んだ「オガールプロジェクト」。  
主任講師に公のキーマン藤田氏、特別講師に民のキーマン岡崎氏のほか3名を講師  
紫波町で都市と農村のつながりを大切にしながら、暮らし心地の良いまちの実現に  
向けた取組を学びます。

令和4年6月17日(金)～18日(土)  
会場：オガールプラザ ほか  
定員：30名  
料金：10,000円(学生5,000円)

主催 一般財団法人地域活性化センター / 共催 紫波町 / 後援(予定) 内閣府、経済産業省、岩手県

### カリキュラム ※内容は変更する可能性があります。

第6月17日(金)	第6月18日(土)
13:00 開講式	9:00 フィールドワーク①「オガールさんぽ」
13:15 東西塾のぬらい・イントロダクション	10:10 講義②
13:30 講義①「民間主導型公民連携とは」 講師:岡崎 正徳 氏 (元)オガール代表取締役/ (一社)公民連携事業推進理事	「参加者のメリットをデザインする」 講師:宮崎 達彦 氏 (株式会社カントリーラヴ 代表取締役)
15:30 休憩	11:20 講義③
15:45 トークセッション 「地域資源に付加価値をつけて 「なりわい」にする」 登壇者:伊藤めぐみ 氏(わとな自然農園・ てしごとやWatana), 岡崎氏, 藤田氏	「オガールと地域をつなぐ」 講師:小川 剛大 氏 (オガール企画合同会社 代表社員/ 合同会社kioe 代表社員)
17:00 写真撮影	12:30 「オガール市」自由見学と昼食
18:00 交流会	13:30 講義④「これまでと、これから」 講師:藤田 千寿 氏 (紫波町企画総務部企画課長)
	14:30 閉講式

### 学びポイント

- ◎民間が「能く」仕組みを構築し、エリア開発を主導していく民間主導型公民連携のポイントを学ぶ。
- ◎駅前公有地の都市再生整備を進めるにあたり、市民の合意形成をどのように進めてきたのかを学ぶ。
- ◎オガールにおけるプロセスデザインを学ぶ。
- ◎オガールと日輪農産物や地域をつなぐ仕組みを学ぶ。
- ◎農村・里山の暮らしを体験し、地域資源を活かしてなりわいを生む方法を学ぶ。

### アクセス

電車(オガールプラザ最寄駅:紫波中央駅)

### お申し込みにあたって

- 紫波町の申請書、申込書は紫波町の個人参加者用が利用可能(2024年6月10日現在)の募集要項をご覧ください。  
(※2名以上参加する、申し込みの受付期間はこちらをご覧ください。)
- 参加料金は、[地方創生実践塾]参加料(学生5,000円/一般参加者10,000円)です。サブスクリプションは、申込に2000円が追加し、2名以上で、2名以上参加します。  
なお、参加費はすべて税別です。お申し込みは別途ご負担となります。講座は先着順の申し込みで定員に達した時点で、申し込みの受付を停止いたします。
- 参加費は2024年6月10日(金)までお申し込みください。お申し込みの状況により、受講料を2名以上で申し込んでも、お申し込みの状況により、お申し込みの受付を停止いたします。
- 地方創生実践塾は10名以上の参加を希望し、民間主導型公民連携の推進に貢献することを目的として開催いたします。

### 申し込み方法

このQRコードをスマートフォンで読み取り、申し込みフォームを提出してください。  
お申し込みの状況により、お申し込みの受付を停止いたします。

お問い合わせ  
一般財団法人地域活性化センター 総務課  
電話: 03-8202-8138 E-mail: center@jcrd.jp

## 令和元年度地方創生実践塾in高知県梶原町

「小さな拠点ゆすはらづくり～集落活動を核とした地域の再活性化」

【梶原町役場 まちづくり推進課 まちづくり推進係 主事 松本 裕子 氏】

「北は北海道、南は宮崎県まで全国各地から多くのみなさんにご参加いただき交流を深めるとともに、町と小さな拠点・集落活動センターの取り組みについて貴重なご意見・ご提案をいただきました。いただいたご意見等は講師と集落活動センターの代表者が町長へと報告し、行政と地域住民が協働で取り組むまちづくりへと生かされています。」

## 平成30年度地方創生実践塾in島根県海士町

「海士町の地方創生 "ないものはない" 離島からの挑戦」

【島根県海士町 総務課 主査 地域×教育魅力化特命担当 濱中 香里 氏】

「「ないものはない」島で、あるものを活かしたまちづくりを参加者の皆さんに実際に体験してもらうことで、海士町を身近に感じていただけたと思います。さらに、グループワークを通して参加者の皆さんに島の未来を一緒に考えてもらうことで、我々にとっても思い出に残る研修となりました！」



# 令和4年度開催予定

回	開催地	日時	テーマ
1	神奈川県 真鶴町	8/26(金)～27(土)	ローカルから未来をつくる ～真鶴町の民力で共創する多様な暮らし～
2	岐阜県 飛騨市	9/9(金)～10(土)	地域資源の価値創造とその仕組みづくり(「広葉樹のまちづくり」を例に)
3	富山県	9/30(金)～10/1(土)	eスポーツ×福祉 ～みんながワクワク!! eスポーツによる新たなコミュニティの形～
4	北海道 富良野市	10/7(金)～8(土)	公民連携におけるまちづくり ～フラノマルシェを核にした中心市街地活性化の取組～
5	和歌山県 和歌山市	10/6(木)、 14(金)～15(土)	無人島からの地方創生 進化思考×SDGsアイデアソンin友ヶ島
6	島根県 松江市	11/4(金)、 12(土)～13(日)	まちづくりメディアラボ ～WEB・動画・写真を駆使した地域プロモーション技法を学ぶ～
7	島根県 邑南町	12/2(金)～3(土)	12地区の力で描く地方創生 ～新たなコミュニティのカタチを探る～
8	徳島県	12/8(木)～9(金)	森林(もり)から始まるサステナブルな社会
9	徳島県 美波町	1/20(金)～22(日)	にぎやかそ(にぎやかな過疎)を創る ～サテライトオフィス誘致を核とした人口減少社会のまちづくり～

\*コロナの状況により、日程が延期や中止になる場合もあります。



地域活性化センターでは地域力創造大学校®として、地域イノベーターの養成を目的に、自治体職員などセンターの賛助会員に向けた各種事業を実施しています。

現在、ニューノーマルの時代に合わせて、いつでも、どこでも学べるよう地方創生実践塾やセミナーなどの動画をアーカイブとして保存し、付加サービスとして賛助会員に提供しています。

- 主任講師及び特別講師の講義を主に撮影・配信予定です。配信部分についてはご相談・ご確認させていただきます。
- 録画とアーカイブ配信について、無償でご協力をお願いしています。

# 応募方法

◆令和5年度に地方創生実践塾を開催する自治体を募集しています。

①当センターホームページ上の申込フォームよりお申込みください。

[https://www.jcrd.jp/event/chihouseisei/2022/0810\\_1852/index.html](https://www.jcrd.jp/event/chihouseisei/2022/0810_1852/index.html)

②メールでもお申込を受け付けています。以下の各事項を記入し、[seminar@jcrd.jp](mailto:seminar@jcrd.jp) (セミナー統括課塚本)宛てにメールをお送りください。

## 【記入事項】

都道府県・市町村名、担当課名、役職・氏名、電話番号、  
メールアドレス、開催テーマ案、オンライン開催切替の可否

# 問い合わせ先

一般財団法人地域活性化センター

企画・人材育成グループ セミナー統括課(担当:塚本)

〒103-0027 東京都中央区日本橋2-3-4 日本橋プラザビル13階

TEL: 03-5202-6134

FAX: 03-5202-0755

MAIL: [seminar@jcrd.jp](mailto:seminar@jcrd.jp)

HP: <https://www.jcrd.jp/>

※詳細な資料等もお送りしますので、  
左記連絡先までお気軽にお問い合わせ  
ください。